三人のどろぼう・すっかりとられた話・三階をつくる話

三人のどろぼう

むかし、ある国に三人のどろぼうがいました。

ある日、三人は力をあわせて山のような財宝をぬすみだすことに成功しました。

三人のどろぼうは、よろこんで、お祝いの宴会がひらかれることになりました。

その一人が町へ酒を買いにゆくことになりました。

のこったずるがしこい二人のどろぼうは、買い物にでた一人がかえってきたら殺して、宝を二人で山わけしようと相談をはじめました。

いっぽう、酒を買いにでた一人も道すがらかんがえました。

何とかして、あの宝ものを一人じめする方法はありますか？

そうして、酒に毒をまぜることをおもひよきました。

しばらくして、酒を買ってかえると、まちうけていた二人のたくらみははまって、一人が殺されてしまいました。

計画がうまくいって、よろこんだ二人のどろぼうは、毒のまじった酒とも知らずに、祝盃をあげました。

こうして、三人のどろぼうは、せっかくの宝ものを一つも手にすることなく、みんな死んでしまったということです。

すっかりとられた話

むかし、ある農夫が町で一頭の牛を買いました。それを、ふたりのどろぼうが見ていました。

何も知らない農夫が田んぼ道をかえっていると、クツが片方おちていました。そのままおろすきましたが、

すこし行くと、また片方おちているではありませんか。

しめた、さっきとおなじだと、道ばたの草に牛をつないで、クツをひろいにもどりました。

よろこんでかえってくれば、つないでおいた牛が見えません。

はげたものとおもい、しかたなく二頭めの牛を買いに町へひきかえしました。

こんどは、クツをひろいにくくりつけ、二頭めの牛をひいてさっきのところへきました。すると、草むらから牛のなき声が聞こえます。

(あの声はわしの牛だ)と、二頭めの牛をしっかりとつないでおいて、草むらに入りました。声はすれども、

どろぼうがつれているので、見つかりません。つかれてでてくれば、牛もクツもきえていました。

しかたなく、とぼとぼ田んぼ道をかえっていると、井戸のそばで、「さいふを中におとした」と男が泣いています。

お金を半分もらえるといたので、農夫は服をぬいで井戸に入りました。

いくらさがしてもありません。

井戸からあがってみれば、自分の服も男も見えませんが、はたかで立きながら、村へかえったということです。

三階をつくる話

むかし、ある国に、金もちでおろかな人がいました。

ある日、友だちの家をたずねたとき、りっぱな三階建ての部屋を見せてもらいました。

高くそびえて屋根は広く、窓も明るく、なかめもすばらしい部屋でした。

自分の家へかえったその人は、おなじような三階の部屋がほしくなり、かんがえました。

(わしはあの人より財産があるのに、いままでどうしてあんな部屋をつくらなかったのだろう...)

そうして、すぐに大工さんをよびつけて、「すばらしい三階をたててほしい」と工事をたのみました。

大工さんは、土地をはかり、土台をつくり、下から上へと、一たんたん建物をつくりはじめました。

ところが、それを見ていたおろかな人は、大工さんにいきました。

「わしは一階や二階はいいのだ。いちばん上の三階だけをつくってくれ」

大工さんは、「一階をつくらず二階はできません。二階をつくらず三階はできないのです」といきました。

しかしその人は、「何としてでも、わしは三階だけがほしいのだ」と、ききませんでした。

それを聞いて、世間の人びとはわらいあいました。

三人のどろぼう・すっかりとられた話・三階をつくる話

1. 三人のどろぼう を読んで下さい。
2. 三人のどろぼう が死んだ原因は、なんですか。
3. すっかりとられた話 を読んで下さい。
4. 農夫がすべてとられたのは、なにが原因だと思いますか。
5. 三階をつくる話 を読んで下さい。
6. 最後に 世間の人びとはわらいあいました とありますが、なぜ 笑ったのですか。
7. 君の生活で考えたら、どんなことが、これらのお話しにあたりますか。

年 組 番 名 前 ()